

独立行政法人 日本芸術文化振興会  
第32回 契約監視委員会 議事要旨

開催年月日	令和6年12月12日(木)
委員名簿 (敬称略)	黒石 陽子(東京学芸大学教授) 千葉 尚路(弁護士) 石山 恵一(独立行政法人日本芸術文化振興会監事) 藤川 裕紀子(独立行政法人日本芸術文化振興会非常勤監事)
議事次第	1.委員長の選出及び委員長代理の指名について 2.連続一者応札・応募等事案フォローアップ(令和6年度分)について(審議) 3.令和6年度調達等合理化計画における進捗状況について(審議) 4.その他
審議点検対象	連続して一者応札・応募等となった案件(令和6年度) ※一者応札・応募等事案フォローアップ票による
総括	(1)審議方法概要と結果 契約金額100万円以上かつ令和6年度の調達と前回の調達が連続して一者応札・応募となった7件について、フォローアップ票及び関係書類による説明を受け、契約監視委員会のコメントを決定しました。 なお、連続一者応札・応募の改善の取組として、次の点に留意してください。 ・他業者のヒアリングを行い、仕様・要件を見直して、入札に参加しやすい環境をつくるよう工夫するべきこと。当該事案に関心を示した業者だけではなく、広く応札可能性のある業者を探しヒアリングを行い、ヒアリングの内容についてはチェック項目を作成し、ヒアリング内容を記録するべきこと。  (2)令和6年度調達等合理化計画における進捗状況について 令和6年度独立行政法人日本芸術文化振興会調達等合理化計画のうち、重点的に取り組む分野と調達に関するガバナンスの徹底について、進捗状況の報告を受けました。